

## J Aバンク長崎における地域密着型金融の取組状況（平成 27 年度）

J Aバンク長崎（長崎県下 J Aと農林中央金庫長崎支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度 J Aバンク長崎中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 27 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク長崎は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク長崎は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 28 年 3 月末時点の J Aバンク長崎の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は 19,000 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は 2,541 百万円を取扱っています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク長崎が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

#### 【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	平成 28 年 3 月末現在
農業	18,452
穀作	390
野菜・園芸	1,965
果樹・樹園農業	724
工芸作物	270
養豚・肉牛・酪農	3,804
養鶏・鶏卵	9
養蚕	0
その他農業(注1)	11,290
農業関連団体等(注2)	548
合計	19,000

(注1) 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

**【資金種別別農業資金残高】** (単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在
プロパー農業資金(注1)	13,758
農業制度資金(注2)	5,242
農業近代化資金	3,043
その他制度資金(注3)	2,199
合 計	19,000

(注1) 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク長崎が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク長崎が低利で融資するものを対象としています。

(注3) 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

**【農業資金の受託貸付金残高】** (単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在
日本政策金融公庫資金	2,541
合 計	2,541

(注) JAバンク長崎では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク長崎は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

**【長崎県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】**

○農業近代化資金(平成27年12月末)

JAバンク長崎 99.6%

○公庫受託貸付金(平成28年3月末)

JAバンク長崎 74.3%

**(2) 担い手のニーズに応えるための取組み**

JAバンク長崎では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成27年度末時点で7JA・34名配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成27年度末時点で県内に31名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

農林中央金庫長崎支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

### (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

#### 具体的取組事例

JAの貸出担当者・営農担当者等を対象に、実績検討会や農業資金に関する知識を習得するための研修会を開催。

### (4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

## 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク長崎は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 次世代農業者の育成支援

JAバンク長崎では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件，百万円)

	平成 27 年度 実行件数	平成 27 年度 実行金額	平成 28 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	46	223	241
就農支援資金	-	-	230
合計	46	223	471

新規就農応援事業の実績は、以下の通りとなっています。

【営農支援事業】 63 件 10,962 千円

【研修支援事業】 8 件 3,800 千円

【合計】 71 件 14,762 千円

## (2) 農商工連携の推進

J Aバンク長崎は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

### 【平成 27 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
第3回 J Aグループ・J Fグループ九州商談会	平成27年6月4日	九州・沖縄各県 J Aバンク・農林中央金庫	133 団体	400 名程度	全体での商談件数 468 件 バイヤー・セラー宛事前アンケートによる予約商談方式により開催

## (3) J Aバンク長崎講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク長崎では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ブランドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

### 【平成 27 年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
長崎県農業法人協会新春講演会	平成28年1月7日	長崎県農業法人協会、農林中央金庫	農業法人経営者等	約60名	テーマ「農業者のための経営戦略論」
長崎県農業法人協会セミナー	平成28年2月5日	長崎県農業法人協会、農林中央金庫	農業法人経営者等	約30名	テーマ「直売所及び販売事業の活性化」
平成27年度ながさき青年農業経営塾リカレントセミナー	平成28年2月19日	長崎県、農林中央金庫	農業経営者、後継者等	約50名	テーマ「農業を取り巻く環境から様々な価値観に触れる～食と健康をキーワードにした情報発信について～」

## (4) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク長崎では、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

### (5) 被災者等への支援

J Aバンク長崎では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

また、生産資材の高騰を受けて特別資金を創設するなど、担い手に対する経営支援に取り組んでいます。

(単位：件，百万円)

取組事例	J A名	内 容	平成 28 年 3 月末 件数	平成 28 年 3 月末 貸付実行 金額
経営緊急対策資金	J A長崎 せいひ	平成 28 年 1 月の大雪・低温による寒害被害を受けた組合員に対し、独自の低利資金(運転・施設資金)を新設。(取扱いについては、平成 28 年 5 月より受付開始)(注)	0	0
経営緊急対策資金	J A ごとう	農産物価格低迷による農業経営の改善を行うために、資材購入および支払い等を目的とし、所得減少抑止等農業経営安定のために資金を制定。	2	4

(注)なお、平成 28 年 11 月末時点では、件数は 13 件、貸付実行金額は 15,400 千円となっております。

### (6) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク長崎では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

#### 【平成 27 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
正常先①	29	0	—	15	0.0%	—	
要注意先	うち その他要注意先②	17	0	2	11	0.0%	11.8%
	うち 要管理先③	20	3	4	15	15.0%	20.0%
破綻懸念先④	24	1	5	18	4.2%	20.8%	
実質破綻先⑤	37	1	2	27	2.7%	5.4%	
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
	小計 (②～⑥の計)	98	5	13	71	5.1%	13.3%
	合計	127	5	13	86	3.9%	10.2%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 27 年 3 月末時点のものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク長崎では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク長崎では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

平成 27 年度のアグリシードファンドの実績は 1 件 4,900 千円となっており、累計では 4 件、23,390 千円の実績となっています。

#### (2) 6次産業化の支援

J Aバンク長崎では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる 6 次産業化促進支援を行っています。

#### (3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク長崎では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 27 年度 負債整理資金の貸出実績】 (単位：件、百万円)

資金名	平成 27 年度 実行件数	平成 27 年度 実行金額	平成 28 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金(注 1)	0	0	260
畜産特別資金(注 2)	0	0	484
その他	5	17	956
合計	5	17	1,701

(注 1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(注 2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

#### (4) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っています。

長崎県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】 (単位：件、百万円)

	平成 27 年度末	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	191	68
機械設備	0	0
その他(注)	30	522
合計	221	590

(注) 「その他」はアグリマイティ資金(アグリパワー資金)です。

#### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク長崎では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

##### (1) 食・農への理解促進

J Aバンク長崎では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、平成 27 年度には県下の小学校 357 校へ 14,800 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J A では、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

##### 【平成 27 年度 J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	申請数	申請時期	活動内容
長崎せいひ	農業体験	30	前半	稲作, 果樹栽培(びわ, みかん), 野菜栽培(野菜, 芋, すいか), みそ作り体験活動
ながさき県央	農業体験	17	後半	稲作, 野菜栽培(野菜, さつまいも, じゃがいも, かぼちゃ, 小豆)
島原雲仙	農業体験	22	後半	稲作, 野菜栽培(さつまいも, じゃがいも), カーネーション収穫, お茶摘み・お茶葉製造,
ながさき西海	農業体験	11	前半・後半	稲作, もち米栽培, 野菜栽培(さつまいも, 大豆, 人参, じゃがいも, 大根, とまと, スイートコーン), みかん, みそ作り体験
ごとう	農業体験	11	後半	稲作, 小麦作, そば栽培, 野菜栽培(さつまいも)
壱岐市	農業体験	4	前半	稲作, もち米栽培, 野菜栽培(野菜, さつまいも, じゃがいも, 大豆, かぼちゃ)

#### 5 地域密着型金融の取組事例

別紙のとおり

以上

## 地域密着型金融の取組事例について

タイトル：農事組合法人檜椎小原へのアグリシードファンド対応について

JA名：農林中央金庫長崎支店(県名：長崎県)

1 動機 (経緯)	当法人は、①効率的かつ安定的な農業構造の早期確立、②農業所得の向上、③農地の集約化や耕作放棄地の解消、④6次産業化への取組みを目指して、前身の佐須農業機械利用組合から平成27年9月に農事組合法人に組織変更。法人化については、対馬市巖原町佐須地区の米生産者約100名で組織された集落営農組織から農業機械利用組合を経て、農事組合法人として設立。生産面積は水稻26ha、そば18haで直接栽培・作業受託を実施。今後、地域の担い手として機能を発揮すべく、規模拡大や独自の加工品生産にも取り組むこととしており、新しい農業機械の導入や運転資金確保等のための資本増強課題を解決すべく本件導入に至ったものである。
2 概要	契約日：平成28年3月15日 投資金額：4,900,000円 取得単価：1,000円/口 取得口数：4,900口 使途：運転資金
3 成果 (効果)	① 資本増強となり、ステークホルダーに対する対外信用度向上。 ② 対馬地域の農業法人に対して、アグリシードファンドの認知度向上。
4 今後の 予定(課題)	引き続き対馬農協と協力のうえ、JAグループ一体となって、当法人が課題としている後継者問題の解消等をサポートしていきたい。

社屋



稲作風景



ライスセンター

